



## 交通事故に遭うおそれのある 高齢者等発見時の110番通報について

### 高齢者の交通死亡事故発生状況（令和7年8月31日現在速報値）

16人中8人が高齢者（うち7人が75歳以上）



- 昼夜別 日中：4人、夜間：4人
- 事故形態別 人対車両 5人（道路横断中4人、その他1人）  
車両相互 3人（正面衝突2人、右折時1人）



### このようなときは 110番通報をお願いします

高齢者などが

- ・道路の真ん中を歩いている
- ・道路で座ったり、倒れたりしている
- ・交通量が多い道路で横断歩道外を横断している
- ・ふらつきながら自転車に乗っている
- ・自動車専用道路、バイパスなどを歩いている、自転車で走っている
- ・自動車で蛇行運転をしている
- ・信号無視など交通違反を繰り返している

その他、交通事故発生の危険を感じた場合には、警察へ通報してください。



### 交通事故に遭うおそれのある高齢者の行動特性

- 周囲を確認せず横断したり、視野が狭まり車両の接近に気付かない
- 黒っぽい色の服装を着用していることが多く、特に夜間は発見しづらい
- 身体機能の低下を意識せず、車両の速度や距離の判断を誤って無理な横断をする

